

片瀬社協 だより

しあわせ

平成24年11月25日発行
編集・発行
片瀬地区社会福祉協議会
藤沢市片瀬3丁目9番6号
片瀬市民センター
☎ 0466 (27) 2711



高齢者・障がい者の権利を護る ふじさわあんしんセンター

今年7月、藤沢市社会福祉協議会ふじさわあんしんセンターが成年後見制度の相談を開始してからいろいろな人が相談にくるようになりました。

例えば――
・高齢の夫が入院したので、夫名義の口座から入院費用を支払おうと思つたら、「本人でない」という理由で、銀行が払い戻しに拒んでくれず、成年後見制度の利用をすすめられた。

・母親に成年後見人をつけることになつたが、「手続きのことをどこに相談してよいのかわからな

い」
・老夫婦で子どもがいないので「いろいろな知っておきたい」等が相談内容です。

「成年後見制度を利用するには家庭裁判所への申立てが必要となります。家庭裁判所へ提出する書類は煩雑で、はじめて申立てを行う人にとっては、たいへん難しい作業です。この手続きを弁護士や司法書士に依頼する方法もありますが、ご自身で手続きを行いたい人にとって、ちよつとした相談のできるあんしんセンターや、地域包括支援センターのような存在が不可欠と考えています」
(あんしんセンター 古館相談員)

――二面に続く――

ふじさわあんしんセンターご利用案内

成年後見 権利擁護

について
専門家に相談したい

専門相談	①午後1時30分 ②午後2時30分 ③午後3時30分
第1水	行政書士
第2水	弁護士
第3水	司法書士
第4水	税理士または社会福祉士

ご予約優先となります。

日常生活自立支援事業

まだ成年後見制度を利用するほどではない方



福祉サービスの利用援助

日常的な金銭の管理

書類などの預り

ふじさわあんしんセンターが3つのサービスによりお手伝いいたします。

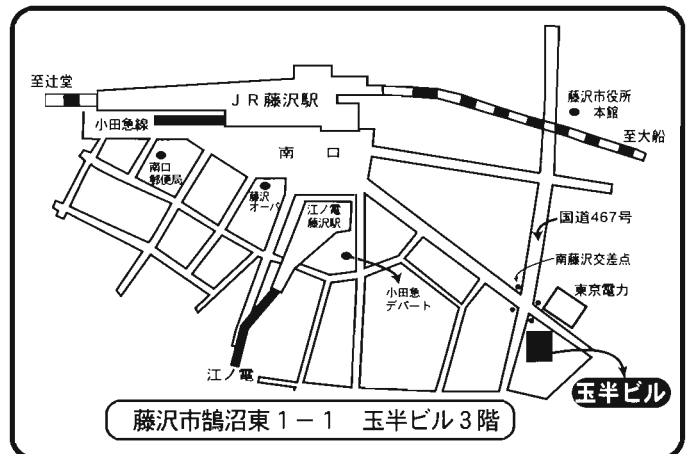
お問い合わせ

通常の成年後見・権利擁護のご相談

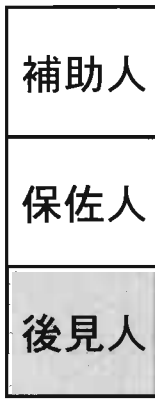
社会福祉法人 藤沢市社会福祉協議会
ふじさわあんしんセンター

☎55 - 3055

玉半ビル3階
月曜～金曜日 午後8時30分～午後5時15分



成年後見制度は認知症や知的障がい、精神障がい等で判断力が不十分な人に対して、家庭裁判所が後見人、保佐人、補助人と呼ばれるサポート役を付けることで、契約や財産管理等の支援を行うものです。家庭裁判所は後見人、保佐人、補助人の監督を行います。後見人、保佐人、補助人のいずれがつかかは、本人の症状などにより決まります。判断能力がもつとも低下している人につくのが後見人。次いで保佐人、補助人となります。



高↑ 判断能力 ↓ 低

厚生労働省は八月に認知症の人数が300万人を突破したと発表しました。02年の149万人から10年間で倍増したことになりました。社会的には成年後見制度の位置づけが重要なものになってきます。

ふじさわあんしんセンターでは、職員が行う通常の権利擁護相談に加えて、専門相談を9月に開始し



ました。専門相談では、弁護士・司法書士・行政書士・税理士・社会福祉士が毎週水曜日に交代で市民の相談を受けます。費用は無料で、予約が優先となります。現在、ふじさわあんしんセンターが後見人となる法人後見を検討しているところです。

（取材 堀口）

片瀬地区敬老会

9月14日金曜日、今年は秩父宮記念体育館一階武道室にて、約400名の参加者がありました。

写真撮りもスムーズにでき、結婚60周年、50周年ご長寿夫妻の方々に色紙の贈呈が行われました。昼



鈴木市長のあいさつ

食後、太鼓演奏に始まり、片瀬山幼稚園のかわいい元気な歌と踊り、続いてフラダンス、津軽三味線、最後になつかしい歌をみんなが歌い、楽しい時間を過ごすことができました。

理事研修

平成24年6月6日（水）、横浜市港北区大倉山の太尾地区社会福祉協議会を訪問しました。この社協の下部組織に、高齢者の家事支援を行っている「太尾ふれあいクラブ」というボランティアグループがあり、買い物・掃除・洗濯・草取り・枝払い・ゴミ出し等の活動をしています。有料でボラの登録者は現在61名、利用件数は年間516件です。ボランティア活動が非常に活発で積極的な社会福祉協議会でした。

午後は藤沢市湘南大庭地区社会福祉協議会を訪問しました。ライフタウンのスーパー「イオン」藤沢店三階の生活支援団体「ライフタウン・ジョワ（助輪）」を本拠に家事支援の



さまざまな活動を行っており、こちらは利用会員の年会費で運営されています。

しあわせとは



片瀬に生まれて片瀬で育ち、早いもので50年が経ちました。まだまだ若いつもりでいますし、未だに勉強中ですが、数え切れないほどたくさんの方々に支えられて生きてきました。

いちばん下の息子が中学生の時に「片瀬地区青少年支援フォーラム」という地域活動に参加させていただき、うになりました。みなさんは「青少年支援フォーラム」をご存じでしょうか？

学校・家庭・地域が連携して子どもたちの健やかな成長を願い、「ふれあい」のある地域社会作りをめざしている団体です。子どもたちの笑顔のために！と時間も労力も惜しまず応援してくださるたくさんの方々に支えられて、とても充実した活動をさせていたと思います。そして何よりも私自身が、その優しさや温かさに触れながら成長することができ、いつも笑顔でいられます。



「ふれあい」のある

地域の中で

片瀬海岸一丁目 岩田和美

数年前になります、小学生のお菓子教室で、一生懸命作ったクッキーを「岩田さんどうぞ！」と私にくれた女の子がいました。できあがったクッキーはいつもみんな大切そうに持ち帰りますが、その女の子は私にも分けてくれたのです。女の子の優しさに感動し、胸のあたりがあたたかくなりました。嬉しかったです。このあたたかい地域で育ったお子さんだから、あの優しさがあるのだと思います。

実は今年の4月に長年の夢だった、ランチとケーキの店「カモメキッチン」を開くことができてきました。仲間が集まりホッとできる店、暖かい雰囲気のお店・・・そんな店をやりたいと、ずっと考えていました。まだまだ不手際ばかりですが、地域の方々がたくさん訪れてくださいます。店での新しい出会いもまた、貴重な経験となっています。

私は、こんなすてきな片瀬の地域に生まれて多くの方々と「ふれあい」、たくさん学ぶことができ、今とてもしあわせを感じています。

社協のイベント報告

ふれあいお楽しみ会

6月4日（月）、バスで平塚の花菜（かな）ガーデンに行きました。日常、外出の機会が少ないためか、参加者からは「毎月でも企画して」など熱い意見も寄せられました。

評議員研修

6月27日（木）、片瀬地区社会福祉協議会の評議員・関係者22名が横浜市緑区の東本郷地区社会福祉協議会を訪問、同地区での生活支援、特に年間400件の病院への送迎活動について詳しく伺いました。介護保険のスキマを埋める活動をしてきたという姿勢に学ぶところが多くありました。

次に戸塚区の旧ドリームランド跡地の高層住宅地内にある、深谷地区地域運営協議会を訪問し、近くの深谷台小学校の空き教室に設けられた地域交流室で、同地域住民のそれぞれの年代に必要な生活を支える仕組みを数十年にわたって手づくりで生み出してきた教訓的な歴史と現状をお聞きし、日常生活で困難を感じる具体的な事例や、今後どのような地域福祉を進めるかなどについて、高齢化する片瀬地区にとっても多くの示唆を得ました。

福祉講演会

6月30日（土）、片瀬市民センターに湘南長寿園病院院長のフレディ松川氏をお招きして開催しました。題して「片瀬で元気に生きる」く絶対認知症にならない生活。皆さんの関心は高く、前日には電

話申込者で120席が満席となり、当日は、ユーモアがあふれ、大変具体的にわかりやすい講師のお話、皆さんはうなずき、笑い、一生懸命メモを取っていらつしやいました。講師の推奨される日常生活の七つのポイントは――

- ① 歩く。周りをよく観察する。
- ② 新聞を読む。できれば声を出してもつ。
- ③ 料理をつくる。女性は30品目以上、男性は10品目以上のレシピを頭にもつ。



フレディ松川氏のお話し

- ④ 人に会う。そのなかに自分の役割もある。
 - ⑤ 外出し、人ごみに入っていく。
 - ⑥ 「恋心」をもつ。ときめいていきますか？
 - ⑦ 日記をつける。回想、書くことを大切に。
- 講演後に65通もの感想文が寄せられ、講師への感謝、生活改善の決意が多く書かれていました。なかには「家族を介護している自分自身をどのようにケアしたらよいか」との声もありました。

介護実習

7月12日（木）午前、「めざせ元氣シニア」く滑舌・音読・座って太極拳、軽食で交流の集いを片瀬市民センターで開催しました。介護講習と共に福祉講演会のフレイディ松川氏のお話を受けての実践編ともなり、講師は地元で活躍中のサークルの皆さんにお願いました。



片瀬山三丁目 岩本 義久

私の健康法

美しい片瀬山に昭和43年に入居し、44年が過ぎました。妻を10年前に亡くし、二人の子は独立して喜寿を過ぎた今、身長178cm、体重72kg、背筋はピンと病気なしの独居老人です。

私の健康法とは人生の処し方で、「心技体」に分かれます。

「心」とは気持ちの持ちようです。いつも明るく、くよくよしない、常に前向き、いやなことはすぐ忘れる、感動する心を持つ。先日はオリンピックメダリストの銀座パレードを見に行き、感動しました。又10年程前より、地域の為に役立てればと考え、片瀬山防災会会長、連合自治会会長を務めました。今は「わかやぎ会」老人会の副会長をやっています。「技」。人生を楽しく生きる為に、努力することも必要です。若

10月27日におこなわれた福祉バザーの収益は、

二四〇、七〇二円

でした。皆さまのご協力、有難うございました。この収益は、社協の事業等に有益に利用させていただきます。

い頃からやりたかったウクレレシニア教室へ通いました。また鎌倉の友人達と月1回食事とカラオケの集い、同期であった裕次郎やひばり、シャンソン何でもありです。海釣りが好きで、5年程前までは月1回は出かけていましたが最近回数は減り、小物のカワハギやキスになりました。今は70才から始めた水彩画にはまり、我が家の居間は「片瀬山画廊」となり、カラフルで賑やかになりました。足腰が強いせいかわ、ドライブが大好きで、昨年は東北一周2000kmを走破しました。旅の楽しさは格別、人生は動けるうちに楽しむべし。いろいろやって豊かに見えますが、さにあらず、年金生活の中から可能な範囲で費用を捻出しています。私はパソコンメールをやりません。友人達から時代遅れと笑われますが、情報過多の時代、私流の健康法です。

「体」は個人差があります。

8年前に鎌倉のクラブを卒業する迄、選手時代を含めて約60年テニスをやりました。これが強い体



「院長室にて」

しもじま皮膚科クリニック(片瀬三丁目)

下島 博之



早いもので開業して七年。あかちゃんだった子は小学生になり、自転車で通院されていたお年寄りは杖をついて来られるようになり、私も拡大鏡を使って魚の目を削るようになり・・・時の流れを感じます。

海のない長野県で生まれ育ち、都内の大学を卒業した後、長く大病院に勤務していたため、海とはまったく無縁でした。開業当初は院長室から見える江ノ島を不思議な思いで飽きもせず眺めていました。

今ではすべてが日常あたりまえの風景、出来事になりました。

を作ったものです。今は月1回のゴルフ。85才で100を切ることに私の目標です。又必要に迫られて「男子厨房に入り」ました。偏食せず三食たべる、まさに食は人生の楽しみなのです。もうひとつ、いつも身綺麗にすること。掃除洗濯はこまめにやります。

とは云え77才。3ヶ月毎に湘南鎌倉病院で1時間待って「ハイ健康です」と5分の健診を続けています。

一度しかない自分の人生。心豊かに楽しく生きよう。その為に努力する。これが私の健康法です。

編集後記

今年7月より地域でわからないこと、困ったことなどの相談を受ける「ふじさわあんしんセンター」の開始を一面に取り上げました。是非利用していただきたいと思

います。またこの時期、社協は催し物が多く、すべての記事が掲載できないのが残念でした。

朝夕はめっきり寒くなってきました。来月はもう師走です。

(SH)